

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） 情報学研究科は基幹情報学，学際情報学の 2 専攻からなり，各専攻で FD 検討委員会を設置。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4 月 4 日	ドイツ留学説明会	約 80 名
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回 (*月*日) ~について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
基幹情報学 FD 検討 会議 (全 12 回)	毎月最終週火曜日開催の専攻会議と同時に開催，カリキュ ム等を検討	29 人
学際情報学専攻 FD 会議	学際情報学専攻の授業実施内容の検討・3 月 5 日	25 人
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度実施された自己点検評価やその根拠資料となる教学アセスメントを共有した。</li> <li>・成績分布の偏りやクラス間の差を確認するなどの方法で成績評価の点検を行った結果，大きな問題がないことを確認した。全教員に GPC データを共有し自身の成績評価について今後の参考とするとともに，評価基準についての意識改善を促した。</li> <li>・研究科連絡会議において大阪公立大学の全学や各部局で実施される FD セミナーへの参加を呼びかけた。</li> <li>・Microsoft Azure Dev Tools for Teaching を利用し，所属学生が授業の自習・研究に利用可能なプログラミング開発環境の提供を行った。</li> <li>・年度当初の各学年オリエンテーションにおいて，取得単位調査を行うことにより，卒業，進級要件の再確認を行った。また，10 月の後期オリエンテーション時にも同様の取り組みを実施した。</li> <li>・4 月と 10 月に学部学生の研究室訪問期間を設定し，最新の研究成果を紹介するとともに，大学院生との交流を通じて大学院での研究生生活に関する情報提供等を実施した。</li> <li>・大学院学生に対して，8 月 29 日（基幹情報学専攻）と 1 月 27 日（学際情報学専攻）にポスター発表形式の中間報告会を実施した。中間報告として研究内容をまとめることにより，各自の研究進捗を</li> </ul>		

促すと同時に他研究室との交流を行った。

・高等教育研究開発センターが発行し、今年度は情報学研究科が執筆を担当した「大学教育だより」の情報を共有した。

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 ( 54 ) 人

・所属内の専任教員の人数 ( 54 ) 人

6. その他、追記事項

--